

S:その送信
N:なにか失う
S:心配ない?

千種高が標語最優秀

受賞を喜ぶ田中さん(前列中央)と生徒会のメンバーら(県立千種高で)



通信関連企業や団体でつくる「情報通信における安心安全推進協議会」(事務局・東京)が募集した、「情報通信の安心安全な利用のための標語」の学校部門で、県立千種高校(宍粟市千種町千草)が最優秀の総務大臣賞に選ば

れた。2年の田中脩太さん(16)が考えた標語と併せ、宍粟市立千種中とスマートフォン使用のルールを考えたり、インターネットによるトラブル防止を演劇で地域住民に訴えたりしていることも高く評価された。(畑夏月)

情報通信 啓発劇上演なども評価

標語は、ネット利用のルールやマナー、安全対策を啓発するもので、学校部門には全国から78点の応募があった。同高は昨年12月、全校生徒で標語を考案。田中さんは多くの生徒が使う無料通話アプリ「LINE」や、ツイッターなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の頭文字をもじって、「S:その送信 N:なにか失う S:心配ない?」を思いついた。できあがった標語は、選考委員から「タレントのDAIGOさん独特の略語・DAI語っぽい」が、分かります。同様の作品はほかにもあったが、「一番良かった」と高評価を得た。今後、ポスターに採用され、全国の小中高校に掲示されるという。

田中さんは「便利な道具も使い方を間違えれば、人間関係を悪くすることもある」というメッセージが伝われば」と笑顔を見せた。同高は2014年度から、情報モラル教育の充実を図る県の指定校となっている。生徒会では、千種中生徒会と一緒にネット利用について話し合う「スマホサミット」を開催。旧千種町内のこども園と学校が合同で行うふれあい文化祭では啓発劇を上演し、昨年はネットショッピングを題材にした劇を披露した。情報科主任の戎原進一教諭(36)は、高校生が線路内に侵入する様子を撮影した画像をツイッターに投稿して問題になった例などを授業で取り上げ、トラブルは他人事ではないと伝える。今回の受賞を「高校生が地域と共に学ぶ姿が評価され、うれしい」と喜んだ。